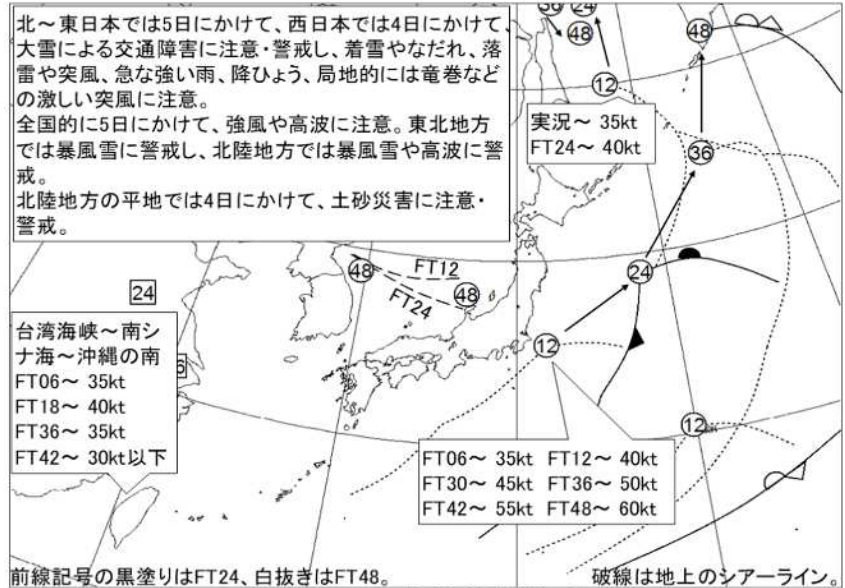


短期予報解説資料 2025年12月3日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5400m付近のトラフに対応して低気圧がオホーツク海を北東進し、低気圧からのびる寒冷前線が東～北日本を通過中。北海道地方では850hPa -9℃以下の寒気が流入し、3時間に5cm前後の降雪。
- ② 500hPa 5640m付近の正渦度極大域に対応して、前線が九州の南から伊豆諸島付近にのび、前線近傍の本州の南では強い雨や激しい雨を解析。
- ③ 日本海西部から日本海中部にかけて、地上シアーラインがあったり南下中。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は4日にかけてオホーツク海を北上し、1項②の前線上の関東の南には、3日朝までに低気圧が発生し、急速に発達しながら北東進する。日本付近は大陸の高気圧とこれらの低気圧との間で5日にかけて冬型の気圧配置となり、上空の寒気やシアーラインの影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。西～北日本では日本海側の山地を中心に4日にかけて、大雪となる所がある。大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪やなだれ、落雷や突風、急な強い雨、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北陸地方の平地では4日にかけて、土砂災害に注意・警戒。特に、3日夜から4日朝にかけては、500hPa 5340m付近で-36℃以下の強い寒気を伴うトラフが、深まりながら西～北日本を通過し、1項③のシアーライン付近を中心に雪や雨が一時的に強まる事に留意。
- ② 5日は2項①のトラフの後続となるトラフが日本付近を通過し、トラフ前面で2つの低気圧が発生し、5日はじめと5日日中に本州付近を通過する。低気圧周辺では大気の状態が不安定となる。西～北日本では4日と5日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。また、5日にかけては東～北日本の上空850hPaに-6℃以下の寒気が残っており、トラフや低気圧の影響で山地を中心に大雪となる所がある。東～北日本の山地を中心に5日は、大雪による交通障害、着雪やなだれに注意。
- ③ 2項①②の低気圧やシアーライン、冬型の気圧配置の影響で、全国的に5日にかけて、強い風や非常に強い風が吹き波が高くしけや大しけとなる所がある。強風や風雪、高波に注意・警戒。東北地方は暴風雪に警戒、北陸地方では暴風雪や高波に警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項 [量的予報等]
- ① 雨量(06時からの24時間)：北陸100mm。
 - ② 降雪量(06時からの24時間)：東北70、北陸・近畿50、関東甲信・中国40、東海30cm。
 - ③ 波浪(明日まで)：北陸6、東北・伊豆諸島・近畿・中国5、その他広い範囲で3～4m。
 - ④ 高潮(明日まで)：大潮の期間。北～西日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警戒報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。